



鮎釣りとの25年

足立 宗助さん（奥沢）

私

の趣味は釣りで、なかでも鮎釣りは25年続けてきたとても大切な楽しみです。これまで鮎釣りの大会にも出場し、上達するためにプロの方の動画や専門誌で技術を学び続けた結果、4回の優勝を経験することができました。

年間に釣る鮎は2000〜2500匹ほどで、現在は自然豊かな山梨の桂川で竿を出すことが多く、川のせせらぎや風景を楽しみながら釣る時間は、何にも代えがたい心の癒やしになっています。若いころには行動範囲も広く、車で6〜8時間かかる川まで遠征したこともあり、その道中での出来事も今では良い思い出になっています。

釣った鮎は自分で食べてもとてもおいしいのですが、よく近所の方にも差し上げて喜んでいただいています。なかでも塩焼きが一番好きな食べ方です。

また、鮎釣りとは別に体験記の執筆にも取り組んでおり、「俺のドラマ」というタイトルの本として出版されています。釣りへの思いと人生の喜びを込めた一冊ですので、機会がありましたらぜひ読んでみてほしいです。



村を彩る曼珠沙華の里山活動

私は里山を楽しむ会の会長を務めており、結成から5年、会長も同じく5年間務めています。

この会は「東秩父村を曼珠沙華（彼岸花）で日本一有名にし、村の魅力をもっと多くの方に知ってもらいたい」という想いから立ち上げました。活動を始めてからの5年間で、約600万球もの曼珠沙華の球根を植え、村の里山を美しく彩ってきました。植えた球根はすべて寄付によるもので、多くの方のご協力のおかげで続けられています。また、毎年「ひがしちちぶ曼珠沙華まつり」も開催しており、多くの来場者に楽しんでいただいています。花が咲き誇る里山を眺めながら、村の自然と文化の魅力を伝える活動に、会員一同、喜びと誇りを感じながら取り組んでいます。